

円陣～エンジン～



令和2年 5月 7日

根獅子小 校内研修通信 No1

文責 松田 優子

今年度、初めての校内研修通信「エンジン」の発行です。今後ともご愛読をお願いいたします・・・。
さて、今回の校内研修では、前回の話し合いの確認と年間計画について話し合いをお願いしたいと思います。

今年度の重点目標

- お互いの考え方を認め合うことができたか。
- 意欲的に学び、対話的・主体的な学びができたか。

研究組織

- 授業改善部⇒学習づくり部
- 学習支援部⇒仲間づくり部へ 名称を変更

主な担当

- マス計算、漢字検定⇒田中先生（印刷・記録）
- ねっこタイム⇒井上先生（6月ぐらいから）
- Q-U、算数アンケート⇒松田
- 地域行事、人権集会感想まとめ⇒濱口先生
- 自学コンテスト⇒田中先生・松田（実施方法の検討も）

前回の話し合いで、以上のように決めましたが、
新型コロナウイルスの影響で変更するものも
ありそうです。

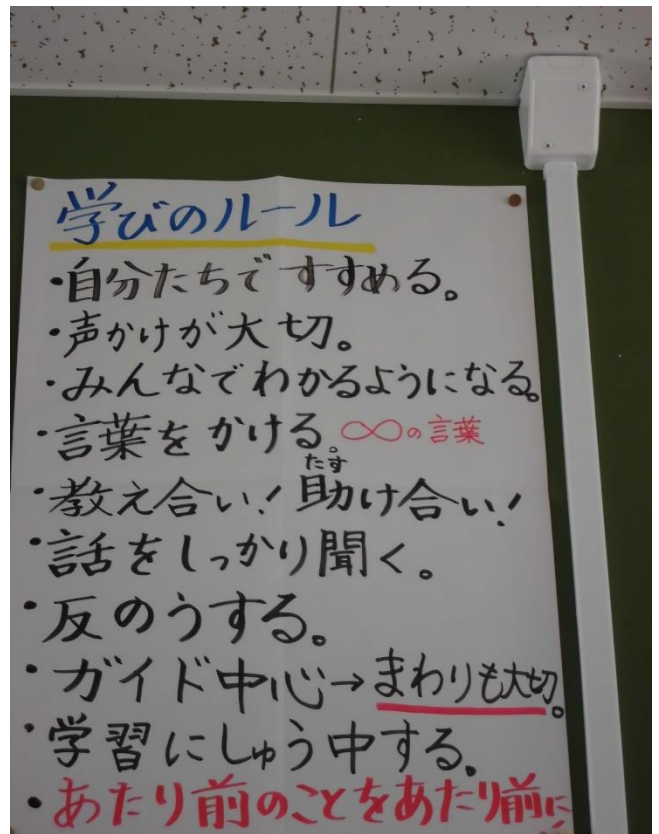
まず、本発表がどうなるかも未定です。

時期の変更があれば、

研究授業の時期も変更する必要もあるかと思えます。

ただ、日々の授業の中で、子どもたちに確かな学力を
身につけさせるために必要な実践を行ったり、
ねっこタイムなど子どもたちの人権感覚を培う
ような取り組みを行ったりと、できることをしっかりと
行っていくことは変わらないと思います。

先生方にはご協力をお願いすることになると思いますが、
どうぞ一年間よろしくお願いいたします。



研究主題

確かな学力を身につけさせる算数科授業の創造
～関わりの中で自他を認める集団作りを通して～

学期	月 日	研修内容	行事など
1	4月 3日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の研究について ・本年度の研究の方向性について ・専門部ごとの活動計画 ・人権との関わりについて 	8/9,8/21 登校日
	5月 7日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画について 	
	6月 4日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討 (第1回全体授業) 	
	6月18日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全体授業 (3・4年) ・授業研究会 	
	7月 21日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の研修について ・専門部にて今学期の反省など 	
	8月 9日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に対する職員研修会 	
	8月21日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の研修会報告 ・人権教育総合推進事業研究発表に向けての指導案検討 	
	8月31日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の校内研修計画確認 ・各専門部での2学期の校内研修の話し合い 	
2	9月17日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討 (第2回全体授業) 	運動会(9/27)
	9月24日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回全体授業 (1・2年) ・授業研究会 	5年野外宿泊 (10/7~8)
	10月15日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討 ・発表リハーサル 	
	10月29日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表準備 ・校内環境整備 	
	11月 5日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表準備 ・校内環境整備 	6年修学旅行 (11/19~20)
	11月 6日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育総合推進地域事業 (第3回全体授業) 	
	12月25日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中の研修について ・研究紀要のまとめについて 	
3	1月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査の結果分析 	
	2月18日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究紀要製本 	
	3月25日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間のまとめ, 次年度の方向性について 	